

令和元年8月28日

岩沼市議会議長 森 繁 男 殿

議員氏名 酒 井 信 幸



調 査 研 究 等 報 告 書

実施期日	令和元年8月20日（火）～令和元年8月22日（木）
参加者氏名	酒 井 信 幸 （長 田 忠 広）
調査地等 及び 調査事項 等	(1) 調査地・研修場所（高知県香美市） 日時 令和元年8月20日 午後 2時～3時30分 調査・研修内容 有害鳥獣被害防止事業について
	(2) 調査地・研修場所（高知県の町） 日時 令和元年8月21日 午前10時～11時30分 調査・研修内容 菊池学園について
	(3) 調査地・研修場所（高知県南国市） 日時 令和元年8月22日 午前10時～11時30分 調査・研修内容 ごみの戸別収集事業について

※ 別途報告書を作成の上、添付してください。

※ 報告書には、報告者氏名、調査・研修目的、調査・研修内容及び効果・成果等を記載の上、その他調査・研修内容が分かる資料（視察時資料、研修資料等）を添付してください。

調査研究等報告書 (議員 酒井 信 幸)

I	調査・ 研修地	高知県香美市
	調査・研 修年月日	令和元年8月20日(火) 午後2時～3時30分
	調査・ 研修項目	有害鳥獣被害防止事業について
	調査・ 研修内容 等	<p>(1) 事業と概要について</p> <p>有害鳥獣被害防止事業補助金として、有害鳥獣による農作物被害の事前防止に取り組み安心して農業を続けるために、シカ用防護柵、シカ用以外防護柵、有害鳥獣被害防止柵、捕獲檻等にかかる購入費の一部が補助金として交付される。但し、補助を受けるに当たり資材の見積書を役所に申請書を提出し、交付決定通知書が申請者に届いた後に柵などを設置する。</p> <p>有害鳥獣捕獲事業として、鳥獣捕獲等に対して報奨金を出している。</p> <p>狩猟者育成事業として、狩猟免許の取得やシカ捕獲のわなの配布、捕獲機材の貸し出し等の事業もある。</p> <p>(2) 成果と課題について</p> <p>シカ用防護柵、シカ用以外防護柵、有害鳥獣被害防止柵、捕獲檻等を設置が進んでいるが、申告のあった被害額と実際に被害にあった農作物の被害額は氷山の一角に過ぎない。</p> <p>(3) 今後の取組について</p> <p>事業の継続的な実施に加え、県、周辺地域、各団体と協力して防護柵の設置・捕獲を実施していく必要がある。</p> <p>有害鳥獣被害対策は、有害鳥獣を捕獲すること、防護柵を張ることも必要になるが、一番必要な事は、農業者・集落の意識(鳥獣に対しての正しい知識、周囲との協力)を変えていくことが必要になる。</p> <p>現在、シカ、イノシシ等の捕獲鳥獣は自家消費か埋設処理がほとんどのため、資源の有効活用及び埋設処理による土壌汚染防止の観点から解体処理施設の整備についても考えなければならない。</p>
	まとめ (調査・研 修による 成果・効 果)	<p>香美市の市域面積が約540km²あり、約9割が森林になっている。</p> <p>有害鳥獣被害はニホンジカの被害が大半を占め、続いてイノシシ、ニホンザル等の被害がある。平成30年度の被害額は約450万円となっているが、被害のすべてを確認することが困難で、被害金額は氷山の一角に過ぎない。</p> <p>当市においては、有害鳥獣被害はイノシシが主だが年々頭数も増え駆除するにも追いつかない状態になっている。鳥獣被害対策は行っているが、市鳥獣被害対策実施隊では高齢化が進み、また後継者の不足も問題となっている。有害鳥獣対策に資するため鳥獣被害対策実施隊後継者の確保と育成をこれからも進めてほしい。</p>

II	調査・ 研修地	高知県のいの町
	調査・研 修年月日	令和元年8月21日(水) 午前10時～11時30分
	調査・ 研修項目	菊池学園について
	調査・ 研修内容 等	<p>(1) 菊池学園の概要について 『心そだてる「みらいの町」推進事業』として、事業を展開している。ひとの事業は、「ひと」に注目した事業で、その『ひと』には、うちの「ひと」(町民)、そとの「ひと」(町外・県外のひと)が存在する。うち・そとの方々へのアプローチの仕方は、違って来るが、その違う施策を一体的に取り組み、全国初の「教育からの地方創生」を進めている。</p> <p>(2) 特徴ある取組について いの町の教育特使として菊池省三氏を招聘して、子ども達と向き合い「質問もできない」「人前に出ると話せない」等、子どもたちにコミュニケーション力をつけ「話すこと」「聞くこと」の指導を行う。また、子ども達全員の「自分らしさ」を取り戻すために「ほめ言葉のシャワー」を実践。日替わりで順番に子どもたち全員を教室の前に立たせ、自分の当番の日はクラスメイト全員から一人ひとりその日に見つけた良いところを発表してもらう。</p> <p>(3) 取組後の効果について 『ほめ言葉のシャワー』を行うことで、「自分にはいいところがある」「先生があなたのことを認めてくれていると思う」など、自信を持つ児童生徒が増えた。また、菊池学園の事業が各地に広まり、メディアの取材や、自治体の視察者が多くなり、菊池学園の関連セミナーへの参加者も多くなった。</p> <p>(4) 菊池寺子屋について 菊池寺子屋とは、町内の小中学校の教員や保育士、県内外の小中学校の教員等が自主的に参加して、自分らしさが発揮できる学級づくりを目的として開催されている。</p>
	ま と め (調査・研 修による 成果・効 果)	<p>いの町では5かの年計画を立て、教育特使として菊池省三氏を招聘したて、子どもたちにコミュニケーション力をつけ「話すこと」「聞くこと」の指導を行ってきた。昨年度からは『ほめ言葉のシャワー』で児童生徒が日替わりで順番に子どもたち全員を教室の前に立たせ、自分の当番の日はクラスメイト全員から一人ひとりその日に見つけた良いところを発表してもらうことを行った。このことで、自分は皆からどのように思われているのか等を知ることにより自信を付け、お互いの付き合い方が良い方に変化していくようになった。</p> <p>当市においても、費用の掛かることではないので菊池学園の考えを取り入れ、子どもたちに「話すこと」「聞くこと」のコミュニケーション力を高め、また、『ほめ言葉のシャワー』について研修を行い、是非、市内の小中学校へも導入を検討してみるべきと思う。</p>

調査研究等報告書 (議員 酒井 信 幸)

III	調査・ 研修地	高知県南国市
	調査・研 修年月日	令和元年8月22日(木) 午前10時～11時30分
	調査・ 研修項目	ごみの戸別収集事業について
	調査・ 研修内容 等	<p>(1) 事業の概要について 平成27年度より長寿支援課介護保険係と福祉事務所障害係に申請があり、ごみ出しが困難で、必要と認められた世帯について、ごみの戸別収集が開始された。申請が認められた場合、持ち込んだ係の担当と、環境課の担当(ケアマネジャーが同行する場合が多い)が訪問して、収集日、分別、ごみ出し場所等についての留意事項を説明して収集が開始される。</p> <p>(2) 実績と問題点について 香南清掃組合(南国市・香南市・香南市)で収集業務を行っているが、戸別収集事業については南国市が独自で嘱託職員2名で収集を行っている。 昨年の収集対象世帯は18世帯だったが今年度は37世帯になったのは、超高齢化で独居老人が増えてきた。</p> <p>(3) 今後の方向性について これからの超高齢化社会に向かって自立支援が重要になってくると思われることから、近所同士の付き合いがあるコミュニティーをしっかりと作り上げたい。地域で支え合って行うようにしていきたいと考えているが、プライバシーの問題等があり難しい。</p>
	ま と め (調査・研 修による 成果・効 果)	<p>南国市では、ごみ出しが困難で、必要と認められた世帯についてごみの戸別収集事業を行っている。</p> <p>当市でも高齢者等ごみ出し支援事業を行っているが、今後、プライバシーの問題等で近所同士の付き合いが困難な世帯が出てくるかもわからないので、戸別の対応について検討することも考えるべきと思う。</p>